

## LIFE と連携して加算を算定する事業所さまへのご案内

4月1日からLIFEの本番運用が始まりましたが、現時点でも仕様変更や疑義照会で入力規制の回答が出されてる状況です。4月16日付け疑義照会で明らかになった入力規制やお問い合わせの多い内容や注意事項をご案内します。

介護保険最新情報 Vol.938「科学的介護情報システム(LIFE) 関連加算に関する基本的な考え方並びに事務処理手順及び様式例の提示について」では各加算を算定する際の提出頻度や入力する項目の考え方、科学的介護推進体制加算算定時の必須・任意項目などの記載があります。ファーストケアユーザーサポート情報のLIFE関連Q&Aでご案内している手順書と共に、かならず、ご確認ください。

頻繁に発出されるLIFEの仕様変更等に対応するため、現在のファーストケアは詳細な入力チェックを行っておりません。必須項目が未入力でもファーストケア画面では保存できます。ご注意ください。

### **重要!** 介護保険最新情報 Vol.938

<https://www.wam.go.jp/gyoseiShiryuu-files/documents/2021/0317104150569/ksvol.938.pdf>

上記文中に記載されている別紙様式はこちら↓

<https://www.mhlw.go.jp/content/12301000/000753746.pdf>

#### 1. 個別機能訓練加算(Ⅱ)を算定する場合

- ①機能訓練計画書の訓練内容・プログラム内容の記載とLIFEに提出する支援コードの関連を必ず設定してください。設定方法はLIFE関連Q&Aの「機能訓練計画書作成方法」でご案内しています。この設定を行わないと、訓練内容・プログラム内容がLIFEに連携されません。また、「頻度」と「時間」の入力枠が2つずつありますが、項目名に※がついている項目をLIFEに連携します。
- ②機能訓練計画書の「訓練目標」タブ「長期目標」・「短期目標」で選択するICF名称について、4月16日に新たな入力規制を含む疑義照会回答がありました。

\*活動、参加 ⇒ 身体機能・構造、精神機能、感覚機能と痛み の区分からの選択。  
(頭文字が「d」から始まるコードから選択すること。)

\*心身機能 ⇒ 上記以外の区分からの選択  
(頭文字が「b」若しくは「s」から始まるコードから選択すること。)

詳細は、LIFE関連Q&Aの「長期目標・短期目標の選択範囲」をご確認ください。

ファーストケア V7.0.540 以前では選択範囲のチェックを行っていません。4月末にリリー

スするファーストケア（確定版）では選択範囲のチェックを行います。その際、選択範囲以外の項目が設定されていると入力値がクリアされます。見直しを行い選択範囲内で選択しなおしてください。

③[状況]タブ、「利用者本人の希望」などファーストケアでは入力文字数制限がありませんが、LIFEへ送信される内容は200文字まで、と文字数に制限がかかっている箇所があります。全入力内容が連携されませんので、LIFEに送信する内容は始めに入力してください。連携項目上限文字数は項目によって異なります。LIFE関連Q&Aの「機能訓練計画書の上限文字数」をご確認ください。

④ICD10のコード

インターネットで検索するとICD10コードを検索するサイトが表示されます。しかし、LIFEで規定しているコードと合致するサイトは確認されておりません。LIFE関連Q&Aの「LIFEに入力するコードの説明等について」でご案内している手順で確認してください。

## 2. リハビリテーションマネジメント加算、リハビリテーションマネジメント計画書情報加算、理学療法、作業療法及び言語聴覚療法に係る加算を算定する場合

①リハビリテーション計画書の「目標」タブ「リハビリテーションの長期目標」「リハビリテーションの短期目標」で選択するICF名称について、4月16日に新たな入力規制を含む疑義照会回答がありました。

\*活動、参加 ⇒ 身体機能・構造、精神機能、感覚機能と痛み の区分からの選択。  
(頭文字が「d」から始まるコードから選択すること。)

\*心身機能 ⇒ 上記以外の区分からの選択  
(頭文字が「b」若しくは「s」から始まるコードから選択すること。)

詳細は、LIFE関連Q&Aの「長期目標・短期目標の選択範囲」をご確認ください。

ファーストケア V7.0.540 以前では選択範囲のチェックを行っていません。4月末にリリースするファーストケア（確定版）では選択範囲のチェックを行います。その際、選択範囲以外の項目が設定されていると入力値がクリアされます。見直しを行い選択範囲内で選択しなおしてください。

②自由入力欄に入力する文章は、画面で入力できる文字数、帳票に出力される文字数、LIFEに連携する文字数がそれぞれあります。厚生労働省から提示されたリハビリテーション計画書が改ページに適したレイアウトではないため、帳票は全文章を出力せずに、項目枠に収まる文字数のみ出力しています。入力できる文字数、帳票出力する文字数、LIFEへ連携する文字数はLIFE関連Q&Aの「リハビリテーション計画書の入力文字数」をご確認ください。

③ICD10のコード

インターネットで検索するとICD10コードを検索するサイトが表示されます。しかし、LIFEで規定しているコードと合致するサイトは確認されておりません。LIFE関連Q&Aの「LIFEに入力するコードの説明等について」でご案内している手順で確認してください。